



径山萬寿寺の戒興住職を囲む訪問団メンバー

静岡商工会議所 聖一國師顕彰事業

しょういちこくし

聖一國師が修行を積んだ

中国浙江省「径山萬寿寺」

を訪問

聖一國師は、現在の静岡市葵区柵沢の出身で、僧侶として最高の榮譽である「国師」の号を日本で最初に贈られた鎌倉時代の高僧です。

当会議所では、「聖一國師顕彰会」（会長・酒井会頭）を設立し、その顕彰事業を進めています。

昨年11月13日、当会議所は静岡県・浙江省友好提携35周年記念訪中団に参加し、併せて聖一國師が修行を積んだ「径山萬寿寺」を訪問してまいりました。聖一國師の故郷である静岡からの来訪ということ、住職の戒興様からは手厚いおもてなしを受け、聖一國師が今でも最も尊敬すべき僧の一人として奉られているお話を伺いました。

当日の夜、浙江省人民大会堂で行われた静岡県・浙江省友好提携35周



年歓迎レセプションでは、酒井会頭から浙江省トップである車俊中国共産党浙江省委員会書記と袁家軍浙江省省長に対し、聖一國師を通じた

静岡と浙江省・径山萬寿寺とのこれまでの御縁と今後の連携の考えについて、自由民主党静岡市議会議員団が発行した冊子「しずおか聖一國師物語」（中国語版）に基づいて説明し、お二人から「大変素晴らしい。ぜひ進めてほしい。」とお言葉をいただきました。

聖一國師顕彰会では、今後ともその功績を顕彰するとともに、聖一國師ゆかりの静岡市・京都市・福岡市・浙江省などとの交流を進めてまいります。



酒井会頭の説明に握手を求める袁家軍省長(左)